

【計画名:美波町回帰率向上拠点計画】

①計画目標の達成状況

目標項目名(単位)	R2			R3			R4		R5		R6	
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	目標	実績	目標	実績
博物館への日本人来訪者(人)	20,000	25,062	125%	30,000	23,418	78%	35,000		40,000		45,000	
博物館日本人来訪者の満足度(%)	73%	73%	100%	73%	90%	123%	80%		85%		90%	
町内の宿泊者数(人)	4,000	7,526	188%	15,000	1,794	12%	20,000		22,000		25,000	
美波町への回帰率(枚) R3~(%)	200	89	45%	600	11,240	1873%	1,050		1,600		2,250	
美波町への外国人来訪者(人)	50	26	52%	200	3	2%	500		800		1,000	

②計画目標の達成状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> 来訪者と宿泊者については新型コロナウイルス感染症の影響を想定していたが、R2は年間の落ち込みが予想を下回り目標を上回った。R3については新型コロナウイルス感染症が終息し回復すると想定していたが、影響が長引き目標を下回った。満足度についてはネットサイトの情報をもとに目標設定したが、実際に博物館でアンケート実施したところ目標を上回る結果となった。 回帰率についてはR2はアンケート実施が出来ておらず、年間パスポートの販売枚数にて判断したが前年を下回った。R3は実際に博物館でアンケート実施したところ目標を上回る結果となった。 外国人来訪者は新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を大幅に下回った。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね目標を達成出来ているが、コロナ禍が長引いており外国人旅行者の回復が見込めない。 満足度と回帰率についてはR3から博物館でアンケート実施をスタートさせたので、継続して状況を判断したい。
--

③計画で取り組んだ事業の進捗状況

事業番号	事業名	R2	R3	事業類型毎の実績額
事業番号 1-①	魅力的な展示解説事業	計画書の作成	基本計画・設計、実施設計の作成	28.6百万円
事業番号 1-②	ウミガメ快適環境整備事業	計画書の作成	基本計画・設計、実施設計の作成	
事業番号 1-③	ウミガメで繋がる連携事業	資料のデータ化 計画書の作成	資料のデータ化 基本計画・設計、実施設計の作成	
事業番号 1-④	ウミガメエコツアーリズム実施事業	計画書の作成 オンラインツアーの実施	基本計画・設計、実施設計の作成 オンラインツアーの実施	
事業番号 1-⑤	ウミガメ調査放流事業	26頭の調査放流を実施	エコツアーの実施 (夜の博物館と特別放流の実施)	
事業番号 1-⑥	宿泊施設連携事業	受け皿となる団体の設立	エコツアーの実施 (夜の博物館と特別放流の実施)	
事業番号 1-⑦	回帰環境保全事業	海岸清掃の実施	海岸清掃の実施	7.3百万円
事業番号 2-①	世界一の歴史を世界へ発信事業	計画書の作成	基本計画・設計、実施設計の作成	
事業番号 2-②	体験型展示施設整備事業	計画書の作成	基本計画・設計、実施設計の作成	16.7百万円
事業番号 3-①	来館者快適環境整備事業	計画書の作成	基本計画・設計、実施設計の作成	
事業番号 3-②	キャッシュレス導入事業	計画書の作成	基本計画・設計、実施設計の作成	3.2百万円
事業番号 4-①	海がみえるカフェ整備事業	計画書の作成	基本計画・設計、実施設計の作成	
事業番号 4-②	まちなか回遊事業	対象エリアのマップ作成	拠点施設と道の駅の割引連携を実施	0.7百万円
事業番号 5-①	ホームページ更新事業	計画書の作成、サーバー構築	新しいホームページ一部公開	
事業番号 5-②	オンライン配信事業	-	-	-
事業番号 6-①	ウミガメ快適環境整備事業	-	-	
事業番号 6-②	ウミガメエコツアーリズム	-	-	
事業番号 6-③	世界一の歴史を世界へ	-	-	
事業番号 6-④	体験型展示施設整備事業	-	-	
事業番号 6-⑤	来館者快適環境整備事業	-	-	
事業番号 6-⑥	キャッシュレス導入事業	-	-	
事業番号 6-⑦	海がみえるカフェ整備事業	-	-	
各年度ごとの実績額→		6百万円	50百万円	56百万円

④事業の進捗状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの事業が連動し博物館全面改修のための作業を進め、R2、R3と順調に進んでいる。 事業番号 1-⑤、1-⑥についてはR3は宿泊を伴うエコツアーを実施し、参加者アンケートで高評価となった。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業はほぼ計画どおりに実施できた。 別予算ではあるが事業番号 5-②が新型コロナウイルス感染症の影響で2年連続実施出来なかった。

⑤拠点施設の要件に関する取組状況

	↓文化観光拠点施設名
要件	日和佐うみがめ博物館カレッタ
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介	令和2年度から計画に沿った事業を進めており、令和3年度には改修に向けた設計書が完成した。令和4年度から6年度にかけては具体的に展示工事に着手し、当拠点施設の特徴である世界で唯一のウミガメ専門の博物館として、また世界で最古となるアカウミガメの調査保護の歴史を正しく発信するため、展示機能の充実を行っている。
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介	令和2年度から計画に沿った事業を進めており、令和3年度には改修に向けた設計書が完成した。令和4年度から6年度にかけては具体的にシステム開発、機器設置に着手し、情報通信技術を活用してウミガメの生態や生物共生、環境保護が学べる環境作りを行う。観光においてもSDGs（サステナブル）コンテンツが求められるなか、施設改修後のソフト事業構築も見据え、四国の右下観光局と連携した「サステナブルワーケーション」プログラム実証試験を実施し、ワーケーション実施企業、環境保護官、WEBメディア企業など16名が参加した。
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介	令和2年度から計画に沿った事業を進めており、令和3年度には改修に向けた設計書が完成した。令和4年度から6年度にかけては具体的に多言語化に着手し、当拠点施設の特徴である世界で唯一のウミガメ専門の博物館として、また世界で最古となるアカウミガメの調査保護の歴史を正しく発信するため、多言語標記の充実を行う。使用する言語は英語の他、繁体字、簡体字、ハングル、スペイン語とし、展示パネルには日本語と英語、その他の言語についてはQRコードで特設サイトへ誘導する仕組みづくりを行っている。
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築	美波町観光協会と当町は観光振興に二人三脚で取り組んでおり、様々な事業も常に連絡を取り合い常々連携を行っている。一般社団法人四国の右下観光局（DMO）は近隣の一市四町と徳島県が出資し、圏域の観光振興による地域の活性化を目指して平成30年に発足、定期的に町と意見交換会を開催し連携を行っている。拠点施設の改修後を見据えて町内の商店で組織する「薬王寺門前町商店組合」を設立した。これらの関係者によって拠点施設で実施するエコツアーと経済波及効果について定期的な意見交換を行っている。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析	美波町観光協会ではJNTO認定観光案内所（カテゴリー2）を運営しており、訪日外国人も含めた来訪者数の調査、収集を行っている。また四国の右下観光局では、観光協会や町が提供したデータの他、域内施設への聞き取りにより独自の宿泊者数調査を行っており、収集・整理・分析を業務として行っている。また令和3年度からは拠点施設内で独自のアンケート調査を実施し、入場者の満足度、再訪問率の把握を行っている。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立	拠点計画を推進するに際して共同申請者や学識経験者、住民らで組織する検討協議会を設立しており、事業の進捗具合の検証を行っている。また四国の右下観光局の策定している日本版DMO形成・確立計画には当町の様々な観光政策や文化観光の推進に関する内容も含まれており、「四国の右下観光局評価会議」等による外部評価の実施、PDCAサイクルにおけるKPIの数値化と達成状況の検証も行われている。

⑥観光関係者（DMOなど）からの評価

・現状では博物館改修のための準備をしている段階であり、改修後でないと目標に掲げた効果検証が行えないと考える。しかし令和3年度は共同申請者が連携しエコツアーの実施や、町内事業者と割引連携を実施するなど、拠点計画認定を機に新しい動きができた。全面リニューアル完成まで、引き続き様々な取組を進めて行く必要があると思う。また近年の旅行においては、ワーケーションをはじめアドベンチャーツーリズムや教育旅行にいたるまで「SDGs」コンテンツへのニーズが非常に高まっている。今年、内閣府「SDGs未来都市」に美波町（ウミガメの保護・環境整備活動など）が選定されたことを追い風に、新施設（カレッタ）を拠点に「サステナブルツーリズム」創造を目指した取り組みを関係者と一体となって推進していきたいと思う。（一般社団法人四国の右下観光局）

⑦今後の改善の方向性

・美波町回帰率向上拠点計画の目的・目標を着実に達成するため「魅力的な展示解説事業整備事業」を追加した。
 ・令和3年9月からスタートさせた来館者アンケートの結果をどう判断するか、運用面の課題も含めて検証を行う。
 ・全面改修の設計は完成したが建築資材の高騰などで財源確保が困難となり令和6年度の完成が難しくなっているが、全面リニューアルまでの新たなロードマップの策定を行う予定。